

令和3年9月13日

各位

会社名 株式会社STG
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 輝明
 (コード: 5858 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 白井 芳弘
 TEL 072-928-0212
 URL <https://www.stgroup.jp/>

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年3月期において、特別損失（減損損失）を計上いたします。また、本件及び現在連結決算作業中のSTX PRECISION (JB) SDN. BHD. (以下、マレーシア子会社)の株式の取得(子会社化)に伴う処理の進捗状況を踏まえ、令和2年8月11日に公表いたしました令和3年3月期(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、事業用資産については管理会計上の区分を基礎として製造工程、地域性、投資の意思決定単位等を加味してグルーピングを行っております。本社等の事業用資産については、共用資産としております。

当社静岡工場において、収益性低下により投資額の回収が困難と見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失として特別損失に65百万円計上いたします。

これらの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額については専門家による鑑定評価等に基づいております。

2. 連結業績予想の修正

令和3年3月期通期連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,100	百万円 45	百万円 115	百万円 100	円 銭 119.27
今回修正予想(B)	1,980	△43	△43	75	89.46
増減額(B-A)	△120	△88	△158	△25	—
増減率(%)	△5.7	—	—	△25.0	—
(参考)前期実績 (令和2年3月期)	2,446	186	188	159	194.47

3. 修正の理由

令和3年3月期は、新型コロナウイルス感染症拡大により、上半期は需要が落ち込みました。修正前の業績予想では、下半期より海外拠点をはじめとして、業績が大きく回復すると見込んでおりました。しかしながら、地域・販売先業種などにより回復にばらつきがあり、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しております。こうした状況から、通期業績予想における売上高は当初計画を下回る見込みです。

営業利益及び経常利益については、令和3年3月26日に公表いたしました「STX PRECISION (JB) SDN. BHD. の株式の取得（子会社化）及び資金の借入に関するお知らせ」の通り、令和3年3月31日付でマレーシア子会社の株式を取得するに際し、M&Aに関する手数料等が発生したため、減額修正しております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、前述の費用（M&A関連手数料、減損損失など）を計上しておりますが、マレーシア子会社を連結子会社としたことに伴い、同社株式取得に関する会計処理として、負ののれん発生益を特別利益に計上いたします。なお、負ののれんの金額は概算であり、精査中であるため、変更する可能性があります。

（注）上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上